

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

3241号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 横田真二：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<https://www.zck.or.jp>



夜空を彩る傘のアーケード (長野県軽井沢町)

もくじ

政 策
随 想
想 報

1周年!!「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2022」
——スポーツによるまちづくりを応援します!——
フォーラム
通年型マウンテンリゾートへの取組とウエルビーイングビレッジのむらづくり
町村ご当地キャラじまん……
お田町の良さをもちと伝えたい……
——長野県野沢温泉村……
福岡県お田町長 遠田 孝一……
(12) (11) (6) (2)

コラム

50aの壁 撤廃は何をもたらすか

農業ジャーナリスト・明治大学客員教授 榎田 みどり

農地法の改正で、この4月、農地の売買・贈与・貸借に関する「下限面積要件」が撤廃された。

従来の下限面積要件は、都府県で50a、北海道では2ha。09年の農地法改正で、自治体判断での要件緩和が認められ、すでに10a、30a程度まで引き下げていた自治体が多いが、「撤廃」となる話は別だ。

従来は面積要件は、不正転用や簡単な耕作放棄を阻止するハードルでもあった。しかし、今後は家庭菜園程度の1a未満であっても、取得・貸借を断ることができない。これだけドラチックな転換なのに、今回の決定プロセスが乱暴だという批判には筆者も共感する。

しかし、逆に見れば、中山間地を抱える多くの町村にとって、兼業・自給農を前提とした1aターンの確保や、地域の非農家を水路や畦畔管理などで従来の担い手との協同関係を築く上でプラス要素にもなる。

すでに1aまで面積要件を下げていた北陸地方の自治体の農業委員は、「そもそも50aという既存の面積要件でも、とくに土地利用型農業であれば農業経営など成り立たないのが現実。不安はあるが、面積の大小にかかわ

らず地域の農地を守る仲間を増やしたほうがいい」と言っている。

実際、現場取材をしていると、兼業で新規就農した「小さな農の担い手」が活躍しているケースを少なからず見かける。たとえば、10aまで下限面積要件を下げ、「市民農業塾(新規就農コース)」で非農家から小規模農家を育成してきた神奈川県秦野市では、15年間で73人が市内で就農している。半農半Xや定年帰農も多いが、面積を拡大し、今では青果流通業者を通じて都内に販路を広げている方たちもいる。

秦野市に限らず、兵庫県神戸市の「マイクロファーマーズスクール」や長野県の「農ある暮らし入門研修」、千葉県睦沢町の「チバニアン兼業農学校」など、すでに小規模農家の育成を始めている地域は少なくない。

まずは農地取得の前に貸借を進め、利用権の設定には地域との調和や集落での協同作業への参加、貸借契約間の農地管理の責任を確認するなど、フィルターをかけるのは必要だが、やり方次第では多様な担い手を呼び込む武器にもなる。その体制づくりは、農業委員会だけでなく、地域農政の中に、この政策転換をどう活かすか位置づける必要があると思う。

写真キャプション

100本を超える傘が頭上を彩る「軽井沢アンブレラスカイ」。日中は陽差しが半透明の傘を透過し、足元のウッドデッキにカラフルな影を落とす。夕暮れからは傘がライトアップされ、移ろいゆく空の色とあいまって幻想的な光景に変わる。雨の日には、濡れたウッドデッキにハルニレの葉や森の生き物等をかたどったレイニーアートが浮かび上がる。

1周年!! 「スポーツ・健康まちづくり」
優良自治体表彰2022
 ―スポーツによるまちづくりを応援します―①―
 スポーツ庁参事官（地域振興担当） スポーツ地域振興調査官 田中聖也

1 はじめに

2 第3期スポーツ基本計画
 ～スポーツによるまちづくり～

前回（2022年5月23日発行・第3200号）、『第3期スポーツ基本計画』がスタートし全国的に「スポーツによる「まちづくり」を応援します!」において、スポーツによる地方創生、まちづくりの考え方や2021年度より開始した「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」（通称：スポまち！長官表彰）についてご紹介をさせていただきました。

「スポーツ×まちづくり」が始動し1年、2回目の表彰を開催し、多くの自治体から応募をいただきました。今回は2回目の表彰（1周年! 「スポまち！長官表彰2022」）のご紹介と、受賞された町の取組計画をご紹介します。

スポーツ庁では2022年3月、第3期スポーツ基本計画を策定し、2022年度からの5年間において国や地方公共団体、スポーツ団体が取り組む施策や目標を具体的に示しています。

第3期スポーツ基本計画では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」という。）のスポーツ・レガシーの継承・発展のための重点施策として、共生社会の実現、地方創生・まちづくりの推進等を設定しています。

スポーツによるまちづくりは、幅広い考え方ですが、大きく分けると2つの観点があります。

1点目はスポーツツーリズムなど、地域外から人を呼び込み地域の

稼ぐ力の向上、交流人口の拡大を図る施策であり、2点目は誰でも垣根なく日常的に歩き、体を動かし、スポーツができる社会をつくり、地域住民の外出機会増加やコミュニティ強化を通じた共生社会の実現、健康増進や地域内経済循環の推進を図る施策です。

それらの施策に取り組むことで、合宿参加者や旅行者の滞在による消費等の経済効果や、スポーツのまちとしてのローカルアイデンティティの形成、地域でのコミュニティ形成にぎわいづくり、なりわいづくり等の社会的効果が期待できます。

なお、スポーツによるまちづくりを進めるにあたっては、地域を挙げて取り組むことが重要であり、役所内の部局間で連携して取り組むことは勿論、行政内部だけでなく、住民の参加や産学官の連携など狭義の

「スポーツ」にとられない幅広い主体が連携し、合意形成していくことが重要です。このような、「スポーツ・健康まちづくり」の取組をより



▲特別ゲストとして、増田明美さん、大山加奈さんを迎え、「スポーツのチカラで地域に活力を」をテーマにトークセッションも行いました

政 策

全国的なムーブメントとするため、「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰制度」を創設しました。

本制度は、全国の自治体より「スポーツ健康・まちづくり」に取り組み自治体のアイデアを募集し、受賞された自治体に対して、室伏長官から表彰式で表彰するとともに、先進的なモデル地域として、スポーツ庁が中心となって積極的に広く全国へアピールしていきます。表彰を機に、スポーツ庁としても地域の取組推進や合意形成を後押しさせていただくとともに、スポーツ庁が中心となり情報発信していくことで、その地域だけでなく全国で「スポーツ・健康まちづくり」への取組が広がっていくことを期待しています。

1周年!! 「スポまち」長官表彰2022 受賞自治体紹介(part1)

昨年度の1周年!! 「スポまち」長官表彰2022」では20の自治体が受賞されました。このうち、7つの町の取組を今号と次号（第3242号）の2回に分けてご紹介します。各自自治体の特色を活かしたスポーツ

によるまちづくりの取組にご注目ください。

宮城県大河原町 「千本桜スポーツパークを活用したWell-beingなまちづくりプロジェクト」

宮城県大河原町は、町のシンボルでもある「白石川堤一目千本桜」を中心に、町民の誰もがスポーツを楽しみながら健康づくりができるまちを目指し、「元気なまち」のイメージの発信と交流人口の拡大につながるまちづくり計画に取り組みます。町の中心を流れる白石川の河川敷



▲宮城県大河原町

千本桜スポーツパークを活用したWell-Beingなまちづくりプロジェクト

スポまち！長官表彰2022 1 宮城県大河原町

＜目標分野＞ ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病予防
- ③ 自然と体を動かして「楽しいまち」への転換

＜目標内容＞

スポーツ振興を町長部局に移管し町民の誰もがウォーキング・サイクリング・パークゴルフなどのスポーツを楽しむことに加え、日常での様々な身体活動をスポーツと捉え“楽しみながら健康づくりができるまち”、“ここもからだもHappyになれる”、“元気でポジティブなイメージ”を発信できるまちを実現し交流人口・関係人口の拡大につなげる。
・河川敷アクティヴスポーツ施設利用者数(R5)5,000人 → (R7)12,000人 ・歩いて健幸事業登録者(R5)800人 → (R7)1,200人

＜PRポイント＞
楽しみながらの健康づくり

【おおかわら千本桜スポーツパーク】…河川敷にマウンテンバイクコース、ドッグラン、パークゴルフ場などの施設整備・堤防天端にウォーキング・サイクリングロード（おおかわら桜ライン）として整備
【第1期スポーツ推進計画】…日常生活における意識的に継続して行う身体活動をスポーツとして捉え楽しい健康づくりの実現
新たな賑わいの創出
【千本桜を千年先に】…河川敷堤内約3,000mに白石川堤一目千本桜の新たな賑わいと観光を施設整備

＜概要＞ 計画期間：～令和8年3月31日

＜現状・課題＞ ～健康意識が高く、子供の学力も高い、便利で住みよいCompact Town～
・白石川堤一目千本桜（日本さくら名所百選：祭り時20万人来客/年間）だが、通年での観光資源、魅力づくりが求められている
・特定健診者（40歳～74歳まで）の健康診断受診率の低下、メタボ結果での悪化

＜総合的な取組内容＞

千本桜スポーツパークを活用したWell-Beingなまちづくり

- スポーツ振興を町長部局に移管
新たな（仮称）スポーツまちづくり推進課として、スポーツによるWell-Beingなまちづくりを推進する
- スポーツをまちづくりの必須アイテムとして活用
千本桜スポーツパークとサイクリング・ウォーキングロード（おおかわら桜ライン）を活用して、健康づくり・人づくり・地域づくり・広域的連携を図る
- 歩くことの継続を支援する「歩いて健幸事業」
システム専用の歩数計で、歩数にポイントをつけ、ウォーキング情報や歩数ポイントで地場産品が当選



千本桜スポーツパーク 完成イメージ

■ スポーツと観光の連携
新たな観光スポット＆アクティビティが楽しめる空間を整備（令和7年度完成予定）



健康づくり 「ルディックウォーキング教室」



地域づくり・広域連携 「仙南サイクルツーリズム事業」



人づくり 「マウンテンバイク体験教室」

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

＜継続的な取組を確保できる体制(図)＞



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会生涯学習課
 - 地方スポーツ推進計画：大河原町教育振興計画
 - 地方版総合戦略：大河原町まち・ひと・しごと創生推進計画
 - 地域スポーツコミッション：無 ● その他：
- 【問合せ先・電話番号】 0224-53-2758
宮城県大河原町教育委員会
生涯学習課 スポーツ推進係

政 策

を中心に、ウォーキング、サイクリング、パークゴルフ等ができる環境を整えるとともに、日常での様々な身体活動を「スポーツ」と捉え、スポーツの習慣化、健康づくりに取り組みます。

また、新たに「スポーツまちづくり推進課」を町長部局に創設し、計画の推進役となって地域一体でまちづくりを進めていきます。

茨城県境町

「子育て世代等も楽しめるサーフィンを活用したまちづくり」ホノルル市と姉妹都市の海の無い町の挑戦！」

茨城県境町は、東京大会で初採用になったサーフィン等のスポーツを核としたまちづくりを推進しています。海の無い町に、人工サーフィン場を移築し、東京近郊で気軽にサーフィンを楽しみたい方や練習したい方、子育て世代の親子といった、幅広い方々にサーフィンに親しめる場を提供し、移住定住の促進や交流人口の拡大、健康促進を目指します。

「選ばれる町・住みたい町」を目指して、町と観光地域づくり法人等



▲茨城県境町

が連携し、官民連携によりオリパラレガシーを活用した地域活性化に取り組みます。

千葉県長柄町

「長柄町版大学連携型生涯活躍のまち(長柄町版CCRC)」

千葉県長柄町は、産官学と連携して町民の健康増進やスポーツによる交流人口の拡大を図り、生涯活躍のまちを目指します。

地元企業が運営する総合健康スポーツ施設を活動拠点とし、スポーツ合宿やレジャー等で町に訪訪する機会を創出するほか、「暮らしてい

スポーツまち・長官表彰2022

4 茨城県境町

子育て世代等も楽しめるサーフィンを活用したまちづくり～ホノルル市と姉妹都市の海の無い町の挑戦！～

＜目標分野＞ ※該当するものに全て印

- ☑ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ☑ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ☑ ③ 自然と体を動かして「楽しいまち」への転換

＜目標内容＞

人工サーフィン場を活用した持続可能な交流人口拡大・健康まちづくりの実現！

- ①【交流人口の拡大】 交流人口：約70万人（令和元年）→ 約200万人（令和6年）
- ②【移住定住の促進】 社会増減数：40人（令和元年）→ 300人（累積、令和2年～令和6年）
- ③【健康促進】 サーフィン施設延べ利用者数：16,675人（令和8年度）※施設は令和4年12月竣工予定

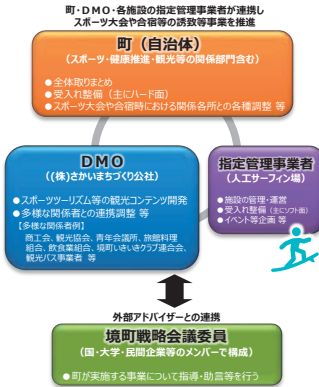


＜PRポイント＞

- ①【東京2020五輪で初採用！】～ハード整備の充実～
今、注目が集まるサーフィン等の体験ができる、**オリンピックレガシー**を活かした**人工サーフィン場**を整備。
- ②【幅広い方が楽しめる！】～アウトリーチの推進～
東京からのアクセスも抜群！**初心者**から**オリンピック選手**などの**プロサーファー**まで幅広い方が利用可能。
- ③【親子で楽しみ、健康促進！】～インナー事業の推進～
通年利用可能！波を止めた状態では、**水中ウォーキング**や**親子で楽しめるシュルゲーキング**、また、**SUPヨガ**など日々の体力づくりにも活用可能。



＜継続的な取組を確保できる体制(図)＞



＜概要＞ 計画期間：～令和8年3月31日(※施設は令和4年12月竣工予定)

＜現状・課題＞

- これまで「スポーツを核としたまちづくり」の一環として、**オリンピック基準のホッケー場やテニスコート、世界レベルのアーバンスポーツパーク**を整備し、プロ・アマ問わず**本格的な施設**でスポーツを楽しみたいという、町内外の利用者を多く獲得してきた。
- 一方、境町が目指す**子育て世代の移住者等の獲得**に向けては、**親子で楽しみ**、更には**健康促進**にも繋がる**スポーツ施設が不足**している。
- 更なる、住んでよし、訪れてよしのまちづくりを進めるため、**東京駅-境町間の高速バス運行**や、**ハワイ州ホノルル市との姉妹都市協定**を結んでいる強みも活かし、政策を進めていく必要がある。

＜総合的な取組内容＞



【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：企画部地方創生課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：第六次境町総合計画
- 地域スポーツコミュニティ：なし
- その他：境町まち・ひと・しごと創生総合戦略



【問合せ先・電話番号】

茨城県境町 企画部地方創生課 0280-81-1309

政 策

長柄町版大学連携型生涯活躍のまち(長柄町版CCRC)

スポまち!長官表彰2022

7 千葉県長柄町

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

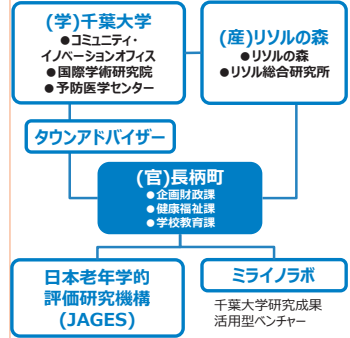
豊かな自然と首都圏からの地理的優位性を活かした移住・定住を推進するとともに、住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護が受けられるまちを目指す。千葉大学・リソルの森と連携し、「暮らしているだけで、健康になるまちづくり」をテーマとした、エビデンスに基づく大学連携型生涯活躍のまちを推進する。

<PRポイント>

【千葉大学】地方創生に係る包括的な連携協定を締結し、エビデンスに基づいた健康・スポーツの取組みを推進。【リソルの森】スポーツ、レジャー、宿泊、医療等を提供する総合健康スポーツ施設を活用し、セミナーや交流を実施。

<継続的な取組を確保できる体制(図)>

H27に締結したCCRC推進の3者協定に基づき産官学が協働。長柄町は千葉大学からタウンアドバイザーを招聘し連携を推進。



<概要> 計画期間: ~令和5年3月31日

<現状・課題>

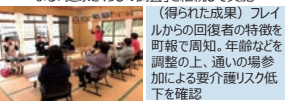
- ① 高齢化、人口減少 →健康ポイント事業の参加者拡大、健康寿命の延伸。移住定住の推進、町のPR。
- ② オリパラを契機としたレジャー →小中学生でのスポーツの普及、スポーツによる健康増進。

<総合的な取組内容>

長柄町版CCRCの実現に向けた大学との連携によるスポーツ・健康の取組

①エビデンスにもとづく健康まちづくり

【健康とくらしの調査・健康ポイント】町民が楽しく健康づくりに取り組める事業。JAGESによる「健康とくらしの調査」を継続して実施



(得られた成果) プレイルからの回復者の特徴を町報で周知。年齢などを調整の上、通いの場参加による要介護リスク低下を確認

【ウェルネストラック】運動強度などを示したサインと自然を楽しむウォーキングルートを産学連携で開発し、リソルの森に設置

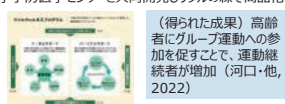


(得られた成果) 情報伝達をデザインし、健康や環境に対する気づきを促進(田島・他, 2021)

【オリパラ競技体験会】千葉大学生によるオリンピック競技(フェンシング)やパラ競技(ボッチャ)の体験会を全小学校で開催



【健康寿命延伸プログラム】社会参加を取り入れた運動・健康プログラムを千葉大学予防医学センターと共同開発しリソルの森で商品化



(得られた成果) 高齢者からの回復者の特徴を町報で周知。年齢などを調整の上、通いの場参加による要介護リスク低下を確認

【Sport in Life健康セミナー】青山剛プロコーチ指導によるシニア・ビジネス向け健康セミナーを共同開催



(得られた成果) 正しい運動方法を学ぶことで、週1回以上の運動機会が増加

【プロコーチレッスン】青山剛プロコーチ指導の「走るコツ」セミナーを全小学校で開催



【トップアスリート交流】トライアスロン日本代表上田藍・岸本新菜選手のトークショーを小中学生向けに配信



(今後の展開) 得られた成果に基づいて戦略を立て、町全体の健康増進とスポーツ振興を図り、高齢者で効果まで検証する。

(今後の展開) 事業を継続し、子供たちのスポーツや健康に対する意識を高める

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先: 企画財政課
- 地方スポーツ推進計画: 無
- 地方版総合戦略: 長柄町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション: 無
- その他: 無

【問合せ先・電話番号】長柄町企画財政課企画広報統計係 0475-35-2110(直)

お問い合わせ先 スポーツ庁参事官 (地域振興担当)付 地域振興係 TEL: 03-5253-4111 (内線3000) E-mail: stiki@next.go.jp

ただで、健康になるまちづくり」をテーマとして、千葉大学の知的資源を最大限活用したエビデンスに基づく大学連携型生涯活躍のまちを推進していきます。町民や子どもたちにも健康プログラムを提供するなど、まち全体で健康増進とスポーツの振興を図ります。



▲千葉県長柄町

車両共済(保険)のご案内

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

株式会社 千里 (取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内 ●ホームページアドレス http://www.chisato-ag.co.jp

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

(受付時間: 祝日、年末年始を除く月~金 午前9時30分~午後5時)

TEL 0120-731-087 FAX 03-3519-7325

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン株式会社とが集团協約を締結し、実施しているものです。
- 集团協としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。このご案内は概要を説明したものです。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

(車両保険引受保険会社) 損害保険ジャパン株式会社

SJ21-00628 (2021.4.19作成)



▲2023-24シーズン開業100年を迎える野沢温泉スキー場

長野県 野沢温泉村

の ざ わ お ん せん む ら



通年型マウンテンリゾートへの 取組とウエルビーイングビレッジの むらづくり

1 野沢温泉村の概要

長野県野沢温泉村は、長野県の北部、新潟県境に位置し、標高1650mある毛無山の裾野およそ標高600mに温泉街が広がる「スキーと温泉、そして野沢菜の故郷」として、古くから多くの人々に親しまれている湯の里です。

野沢温泉村が「湯山村」として歴史に現れてくるのは、鎌倉時代中期の文永9年（1272年）が最初であり、江戸時代初期にはすでに24軒もの宿屋があったといわれ、古くから温泉地として栄えていた本村は、その後、明治45年（1912年）に飯山中学校の生徒であった村出身者が初めてスキーを滑り、大正12年12月（1923年）には野沢温泉スキー倶楽部が発足

翌13年1月には野沢温泉スキー場が開業、スキー場の開発とスキーヤーの誘致、宣伝により、温泉とスキーを中心としたむらづくりが始まり、来シーズンには野沢温泉スキー場開業100周年を迎えることとなります。

2 要条件の化学反応↓ スキーによるむらづくり

野沢温泉村は、ひと晩で1mも雪の降る日本有数の豪雪地帯であり、周囲を山々に囲まれ、すり鉢の底に集落があるようなところです。冬季間は半年近く雪に閉ざされるため、以前は「出稼ぎ」に出る人が大半で、かつて雪は暮らしに不便を強いるやっかいなものでありました。

日本にスキーが入ってきたのが明治44年（1911年）、翌年には野沢温泉にシュプールが描かれ、「豪雪」

フォーラム



▲100年の年月を経て国内最大級のスノーリゾートに

と「急傾斜地の山に囲まれた村」という2つの悪条件が化学反応し、「雪を観光資源にして、スキー産業での発展を」のむらづくりの原点が生まれました。

大正12年に発足した野沢温泉スキー倶楽部によるスキー場開発は、昭和3年に、現在のミディアムヒル規模のジャンプ台「野沢ジャンツエ」が完成、昭和5年には第5回明治神宮スキー大会（現在の国体に相当）の開催と競技スキーの中心地として着実にグレードアップが図られていきました。

イヤーを小学生から大人まで村人総出で運び上げ、12月21日に野沢温泉の第1号リフトが完成、スキー倶楽部が積極的にスキー場経営に乗り出し、昭和38年にスキー場経営を村に移管するまで7つのリフトを建設、スキー場の整備拡充が図られてきました。

昭和30年代後半になると、高度経済成長によりスキーをレジャーとして楽しむ傾向が強まり、全国各地にスキー場がオープン、野沢温泉にも大手企業等から開発や土地買収の打診が相次ぐようになってきました。

その頃すでにスキー場は、スキー倶楽部という住民自らがリフト建設やスキー場経営をするという他に類を見ない40年もの歴史があり、この歴史と伝統を守るべくスキー場の管理経営権を無償で村に移管、スキー場の開発、経営などのハード部門は村が、選手育成や大会開催などのソフト部門はスキー倶楽部が行うという車の両輪の関係が成立し、その後村営スキー場として開発が進められ、ピーク時にはゴンドラリフト2基を含む29基ものリフト・ゴンドラリフトを擁す国内最大級のスノーリゾートとして発展してきました。（現在は指定管理者制度により民営化、土地や施設の保有施設整備は村が、それを借り受け「株式会社野沢温泉」が運営を行う上下分離方式を採用、リフト・ゴンドラ

3 スキー産業を活用した人材育成

昭和46年（1971年）、本村と縁の深い故ハネス・シユナイターの故郷であるオーストリア・チロル州サンアントン村と姉妹村提携を結び、オーストリア国立スポーツ研究所との技術交流やスキー教師の交換研修、両村中学生や村民の交流を進めてきました。

そういった成果等もあり、本村には世界的なウインタースポーツ競技大会で上位選手を輩出してきた伝統があります。例えば、本村約3、500人から16人ものオリンピック選手が輩出され、総人口に占めるオリンピック選手比率は日本一であり、トップのウインタースポーツアスリートを安定的に輩



▲野沢温泉学園スキー科の授業風景

出してきたスポーツ環境は日本屈指のものであります。

こうした環境を支える人材育成の取組のひとつとして、野沢温泉村では平成25年4月、「幼保小中一貫教育」を行う野沢温泉学園を開園し、地域性を生かした教育活動（英語学習やふるさと学習など6つの柱）として、教育課程特例校の認可を受けたスキーの楽しさを味わう「スキー科の学習」を実施しています。

スキー科は、スキーを村の基幹産業とし、16名のオリンピック選手を輩出している野沢温泉学園ならではの教育課程であり、スキー科として年間30時間、こども園の年長から中学3年生までの10年間、単なるスキー授業ではなく、保護者や地域指導者が一体となった一貫指導体制を整え、学園の全ての子どもが楽しくスキーが滑れ、生涯にわたってスキーやスノーボードに親しむことを目指しております。そして、本村出身者はスキーまたはスノーボード経験者であり、村全体を挙げて未来のウインタースポーツ産業を担う人材育成にも取り組んでおります。

4 スノーリゾートからマウンテンリゾートへ

スポーツを活用したまちづくりを着実に継続して進めていくために、これまで野沢温泉村、（株）野沢温泉（スキー場運営会社）、観光協会、旅館組合、

商工会など自治体と民間団体が一体となって実施してきた観光産業の取組を、総合戦略の実施主体、事業の受け皿となるべく、令和5年度中に迅速な意思決定と地域観光の担い手組織となる地域観光DMOを設立し、本村の特色あるスポーツ資源、地理的および自然的特性を活用し、春季から秋季までのマウンテンスポーツ振興、冬季のウィンタースポーツ振興による通年型マウンテンリゾートへの転換、推進が求められています。

温泉はあるものの、冬季に比べ夏季観光の振興は長年の課題となっており、夏季のマウンテンスポーツ振興としては、すでに平成29年に日影ゲレンデにオープンした「野沢温泉スポーツ



▲全長500mのサマーゲレンデは、夏でも雪に近い感覚でトレーニングできる



▲空中大滑降、標高差122mを一気に滑り降りるジップ・スカイライド

公園」には、夏でもスキー・スノーボードが楽しめる本物の雪のような次世代スノーマット・ピスラボ仕様のサマーゲレンデ整備や最高時速70mのスカイアクティビティ、シップ・スカイライド、小さなお子さまも安全に遊べる遊具を備えたナスキーパークを整備し、夏のアクティビティ充実を図り、令和4年度には隣接するインフォメーションセンター内の雨天でも遊べるナスキールームに熱中症対策としてエアコンを設置、雨の日のみならず暑い日も安心して遊べる施設を整備しております。

また、現在継続して整備を進めている毛無山を中心とする「やまびこエリア」には、山麓からのアクセスとして



▲標高1400m付近に広がる上ノ平ピクニックガーデン



▲水上アクティビティが充実してきているキャンプ場は、さらにアクティビティを増やして2年後のリニューアルオープンを目指している



▲長坂ゴンドラのキャabinは10名定員。マウンテンバイクも2〜3台積載可能

フォーラム



▲初級から上級まで幅広いコース設定がされたマウンテンバイクコース

のカーやSUP（スタンドアップパドル）などこれまでの登山やハイキングだけではない遊びを提供し、特に子どもやファミリー層でも安全・安心に山で遊べるマウンテンスポーツの振興を目指しております。そして、毛無山山頂には遠くは日本海や佐渡島、北アルプスの山脈など360度の大パノラマを望める展望テラス「天空の展望台」建設も計画しております。

これまではハイカーや登山愛好家のみをターゲットとした散策路の整備に注力してまいりましたが、よりアクティブに活動する客層をターゲットにトレイルランやマウンテンバイクコース等の整備と併せ、令和3年から開催

している「野沢温泉自転車祭」のように、山頂から山麓までのマウンテンバイクによるダウンヒルと山麓から山頂へのヒルクライムという全く違う要素の大会をひとつの山で開催できる野沢温泉村の山の魅力も発信しながら、県内外からさまざまなマウンテンスポーツによる誘客と通年雇用の拡大を図りながら移住定住促進にもつなげていきたいと考えています。

冬季は、これまで数多くの国際大会、国内大会の開催ノウハウを生かしながら、令和元年度から11年連続で開催する全国中学校スキー大会や他都府県単位のスキー大会、小学生から大学生までの各種スキー大会、国際大会としては障がい者スポーツのパラスポーツアジア大会や国際スキー連盟公認大会など通年で平均して20回以上のスポーツイベントの開催や各種学習旅行（小学校・中学校・高校等）など、さらに大会等の招致を継続して行うことで、ウインタースポーツ人材の育成、次世代を担う雇用創生も図ってまいります。

5 ウェルビーイング・ブレイジの推進

本村には、これまで述べたスポーツ振興のほかに、温泉やパウダースノーの恵みといった豊富な自然環境、日本三大火祭りのひとつにも挙げられる道祖神祭りや湯沢神社灯ろう祭りといっ

た伝統行事、代表的特産品である野沢菜漬けなど、村民生活に結びついた地域文化資源があり、スポーツ振興と併せこうした村民文化を未来へと継承していくことが、魅力と特性あふれるむらづくりの根幹を成していると感じております。

最近では、国内外からのIUJターによる移住者も多くなり、本村の自然環境や水にほれ込んだ移住者によって、クラフトビールやクラフトジン、ウイスキーの醸造所、カフェやレストランなど新たな観光資源、産業も生まれてきています。

温泉街に点在する13カ所ある共同浴場や足湯、そのほかの日本伝統建築と併せ、さまざまな顔を見せる温泉街の街並みがインバウンド観光客にも好評であります。

四季を通じ、住民も観光客も村内の自然、遊び、スポーツ、食事、温泉等により自然と体を動かし、身体的・精神的・社会的に元気になる、「ウェルビーイング・ブレイジ」の推進に取り組む、中長期滞在による村民との交流やスポーツによるコミュニケーション形成により、第2のふるさととして何度も再訪いただける関係人口、交流人口の増加を進めてまいりたいと考えております。

長野県野沢温泉村 観光産業課
課長 竹井 勝



▲廃業した缶詰工場をリノベーションしオープンした野沢温泉蒸留所



▲日本三大火祭りのひとつ「道祖神祭り」

地方公共団体金融機構

令和5年度 地方公共団体の経営・財務
マネジメント強化事業を拡充しました！

地方公共団体の経営・財務マネジメントを強化し、財政運営の質の向上を図るため、**総務省と地方公共団体金融機構の共同事業**として実施している「**地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業**」について令和5年度は**支援分野を拡充して実施**しています。ぜひご活用ください。

本事業のポイント

- ① **アドバイザーの謝金・旅費は、地方公共団体金融機構が負担し、直接支払います。**
- ② **アドバイザーは、自治体職員・OB、公認会計士、医師、学識経験者等の専門の人材が務め、それぞれの団体が選択**します。

活用団体の声

令和4年度は約720件・1,900回を超える派遣を行い、ご活用いただいた団体からは、「本事業を活用してアドバイスを3回受けたが、うち2回は職員研修形式で実施し、自治体経営に必要なマインドの習得に繋がった。他1回の個別案件に関する相談も、**従来の考えを見直す機会となり、大変参考になった。**」といった声をいただいています。それぞれのニーズに応じて、ぜひご活用ください。

1 事業概要

(1) 支援分野

アドバイザーを派遣する支援分野

- ① 公営企業・第三セクター等の経営改革に関すること
・ **DX・GXの取組(拡充)**
・ 経営戦略の改定・経営改善
・ 公立病院経営強化プランの策定及び経営強化の取組
・ 上下水道の広域化等
・ 第三セクターの経営健全化
- ② 公営企業会計の適用に関すること
- ③ 地方公会計の整備・活用に関すること
- ④ 公共施設等総合管理計画の見直し・実行に関すること(公共施設マネジメント)
- ⑤ **地方公共団体のDX(拡充)**
・ 情報システムの標準化・共通化
・ マイナンバーカードの利活用の推進 等
- ⑥ **首長・管理者向けトップセミナー(拡充)**

※⑥は啓発・研修事業のみで実施

(2) 支援の方法

市区町村・公営企業に対して継続的に派遣

- 1 課題対応
アドバイザー
事業 市区町村・公営企業が直面する課題に対して、当該課題の克服等、財政運営・経営の改善に向けたアドバイスを必要とする場合に団体の要請に応じて派遣
- 2 課題達成
支援事業 政策テーマの実施に当たり、知識・ノウハウが不足するために達成が困難な市区町村・公営企業に、技術的・専門的な支援を行うために派遣

都道府県に対して派遣

- 3 啓発・
研修事業 都道府県が市区町村・公営企業の啓発のため、支援分野の研修を行う場合に派遣

- JFM ホームページにおいて、「実施の手引き」など、関係資料を掲載中！
- 活用事例も紹介しています。ぜひご確認ください。



※申請に際しては、本事業のWebシステムをご利用いただけます。使い方等については、下記HPで公表しているマニュアルを参考にしてください。

▼ 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

経営・財務マネジメント強化事業

検索

<https://www.jfm.go.jp/support/development/keiezaimu.html>

お問い合わせ先

☎ 地方支援部 調査企画課 : 03-3539-2676

✉ chihoushien@jfm.go.jp

町村

ご当地キャラじまん

Vol.120

特産品だけじゃない!

文化・歴史を身にまとして観光大使!!

ご当地自慢の美味しいものや伝統行事を身にまとい、体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。今回は、東ブロック(北海道・東北・関東)からピックアップ。

東
ブ
ロ
ッ
ク



平成12年(2000年)4月、塩谷町のシンボルキャラクターを作ろうと民間団体が発案し、「ユリピー」が誕生しました。町花・ヤマユリをモチーフとした、かわいい女の子のキャラクターです。平成25年(2013年)に新しい「ユリピー」に生まれ変わってからは、塩谷町をより一層盛り上げることを任務とし、活動しています。町民から愛されるキャラクターとして人気者の「ユリピー」ですが、大きくならず、時々ドアから出られないことがあるのが悩みのタネなのだとか。令和2年(2020年)に、塩谷町が「ウォーキングの町しおや」宣言を行ってからは、町主催のウォーキングイベントに応援に駆けつけてくれる「ユリピー」。語尾に「〜ピー」とつける話し言葉で、日々塩谷町の魅力をPRしています。

塩谷町シンボルキャラクター

ユリピー

栃木県塩谷町



4月8日(408=しおやの日)生まれ。尚仁沢湧水の水を飲んで大きく育ったヤマユリの妖精で、明るく元気な女の子。年齢はひみつ♡特技は誰とでも仲良くなれること。趣味は自然散策、アウトドア、音楽鑑賞。塩谷町の美しい空気が大好き。

榛東村マスコットキャラクター

しんとこちゃん

群馬県榛東村

榛東村の顔として、榛東村を全国にPRするためのマスコットキャラクターとして一般公募し、応募総数386作品の中から選ばれました。榛東村が県内有数のぶどうの産地であることから、頭には榛東村でとれる新鮮なぶどうを載せていて、体には村章が描かれています。チャームポイントはハート型の耳。ピンク色の体と優しい笑顔で子どもたちから大人気です。平成27年(2015年)11月に正式にマスコットキャラクターに任命され、平成29年(2017年)9月21日と令和4年(2022年)12月1日には、渋川警察署一日署長を務めました。「しんとこむらじくり祭」等、村内のイベントに参加するほか、村外にも出かけて行って、見た目通りの穏やかな動きと元気で明るい笑顔で榛東村を全国にアピールしてくれるキャラクターです。



8月1日生まれ。ぶどうの精。人懐っこく、甘くてまっはりして、愛にあふれた首がハート型。性格はぶどう作りで、得意技は、まきぶどう。好きな食べ物はおまんこ。虫や雨、狭いところが苦手。

松田町公式キャラクター

奴さん

神奈川県松田町



8月5日(やっこ)生まれの男の子。ほのほのとした明るい性格で、親しみやすい。趣味は奴振り、自由な時間があるとつい片足立ちしてしまうほど。西平畑公園のスカイスウィングというプラパークがお気に入り。松田山のみかんが好物。

平成元年(1989年)6月に誕生したキャラクターで、モチーフは、明治初期から伝わる伝統芸能「松田町大名行列」の「奴」です。平成31年(2019年)の町制施行110周年の人気キャラ投票では第1位を獲得するほど、不動の人気を誇る「奴さん」。同年より町公式キャラクターに認定され、11月に開催された「まつだ産業まつり」で初めて着ぐるみがお披露目されました。以降、テレビ等のメディアにも積極的に登場し、徐々に認知度も向上。松田町のPRキャラクターとして活躍しています。オリジナルグッズの販売やご当地ナンバープレートに登場する等、町民から広く親しまれています。町主催のイベントに参加することも多々ありますが、時には町外へも出張し、松田町のPRのため活躍しています。

次回は、中ブロック(北信・東海・近畿)からご紹介いたします

随 想

苅田町は、福岡県の東部、北九州市の南隣に位置し、面積は約50km²、人口は3万7,700人程の町です。

町の東側には苅田港臨海工業団地が広がり、日本を代表する大企業とこれを支える多くの企業が立地しています。また町の西側には田園が広がり、白川米といわれる美味しいお米の産地でもあります。

町役場に隣接して、古墳時代前期に築造された畿内型の前方後円墳である石塚山古墳があり、墳丘の長さ

三菱セメント)が生産を開始したことから始まりです。

その後、国の重要港湾である苅田港の整備が進められ、工事によって出た浚渫土砂などを埋め立てて臨海工業団地が造成され、昭和31年に九州電力の火力発電所、昭和39年には宇部興産と麻生セメントが創業を開始するなど、戦後復興と高度成長期を支えてきました。

国内の産業構造の変化に伴い、昭和48年に日産自動車の苅田町への進

さらに近年、バイオマス発電所が

3社立地しました。発電所の至近に新たな岸壁が整備されたことでバイオマス燃料を最短距離で輸送できる体制が整っており、3社合計で20万kWの発電能力を持つ、国内随一の再生可能エネルギー集積地域となっています。

平成18年に、町の沖合に開港した北九州空港は、現在は滑走路が2、500mですが、24時間利用可能な海上空港という利便性を活かし、国



苅田町の良さをもっと伝えたい

福岡県苅田町長 遠田 孝一

は約130mでこの時代に築造された古墳としては全国でも屈指の規模を誇り、三角縁神獣鏡も出土しています。

また大きさがほぼ同じで古墳時代中期に築造された、畿内にある天皇陵と同様の周濠や造り出しをもつ御所山古墳もあります。こうした文化財の存在は、古来よりこの地が重要な位置にあったことを示しています。

町の産業の歴史は、町内近傍に良質の石灰石が採掘できることから、大正9年に豊国セメント(現UBE

出が決定しました。その後、平成17年にトヨタ自動車九州の苅田工場、平成20年に一部が苅田町に所在する

同社小倉工場、平成22年に日産車体九州が操業を開始し、町は有数の自動車産業の拠点となっています。

苅田港における輸出額は9千億円(令和4年)で国内港湾の第17位に位置し、町の製造品出荷額は約1.7兆円(令和元年)で市町村別では第24位、町村としては第1位となっています。

際航空貨物の需要拡大に向けて滑走路3,000mへの延伸が計画されています。滑走路の延伸により大型

貨物機の離着陸が可能となるため、西日本全域をカバーする貨物拠点空港として、国内産業の国際競争力の強化に貢献することが期待されます。

なお、北九州空港の旅客利用者数は新型コロナウイルスの影響を受けてしまいましたが、貨物取扱量は、令和2年度15,385t、令和3年度21,819t、令和4年度も過去最高を

更新することが見込まれています。

北九州空港に直結して東九州自動車道の苅田北九州空港インターチェンジが設置され、高速道路と北九州空港は、連絡橋を通して10分程で結ばれています。

町は港湾や空港、立地した大きな産業に支えられ、財政力を示す財政力指数は令和3年度決算値で1.241であり、県内唯一の普通交付税不交付団体となっています。また人口も令和4年11月に過去最多を更新しました。

しかしながら、他の自治体と同様に老朽化した公共施設の更新、子育て世代への投資、快適な生活環境を整えるための計画防災への備え等、多くの課題を抱えています。将来にわたって持続可能な町づくりとするため、デジタル化の推進やSDGsへの取組も並行して進めています。

町の運営を支える町職員の皆さんと力を合わせて、この町を次の時代にもっと良い形、持続可能な町にして、次の世代に引き継ぐことが、私の使命だと思っています。

これからも近隣の市町と連携し、北九州地域、京築地域の発展に寄与するために、努力してまいります。